

話題

街にひろう

女化アートフィロールド がいよいよ本格始動!

11月8日、女化青年研修所にある芸術文化の新たな拠点「女化アートフィロールド」がグランドオープンしました。

会場では「佐久間あすか展」や「うしく絵画展」、各種ワークショップ、野外演奏会などが行われ、多くの家族連れが芸術を体験



粘土で土面を作る参加者

しました。「土面をつくりましょう」では、新聞紙の型の上に、粘土を貼り付けて、自由に守護神(ガーディアン)の土面を作成しました。子どもたちは、「ハート型にしたいね」などと話しながら、個性豊かな土面を作りました。

また、手作りの石窯で焼いた60枚のピザには長蛇の列ができ、お昼前には完売するほどの人気を集めました。「見て、聴いて、食べて、体感する」ことができる女化アートフィロールドがいよいよ本格始動です。

地元産給食「牛久の日」

10月30日、市内の小中学校で恒例となった「牛久の日」の給食が振る舞われました。

「牛久の日」の給食は、牛乳を除くすべての食材を牛久産に限定しています。この日のメニューは、ご飯、



生産者の皆さんと一緒に給食

豚肉のオイスターいため、ごぼうサラダ、ハクサイと卵のスープ、リングと盛りだくさん。中でも豚肉のオイスターいためは、「牛久市バリオオマスタウン構想」の下で栽培された菜種を搾った油(上写真)で調理したという、こだわりの一品です。

下根中学校では、生産者9人が招待され、生徒と一緒に楽しく給食を食べました。リング生産者の長沼雅之さんは「今日の『群馬名月』というリングは酸味がなく甘いのが特長です。家の人に『今日は給食で何々を食べたよ!』と話すきっかけになればうれしいです」と話しました。

1年4組の源後希菜さんは、リングの味を聞かれると「いつも食べているリングより、シャキシャキしていて甘いです」と笑顔で答えました。

牛久市合同金婚式

11月1日、市総合福祉センターで牛久市社会福祉協議会主催の合同金婚式が行われ、婚姻後満50年を迎えたご夫婦177組が集まりました。

はじめに、代表として富山次男・光子夫妻が池辺勝幸市長から褒状と記念品を贈呈されました。

また、招待者代表の佐藤允通・竹子夫妻による謝辞では「結婚した50年前を思い浮かべると、日本の経済は高度成長が始まり、結婚後も家庭を顧みる暇もなく勤労に励みました。豊かな生活を楽しめるようになった陰には物質的、精神的な両面から支援してくれた妻たちの大きな力を認めなければならぬ。」と述べました。



佐藤允通・竹子夫妻による謝辞

地域のつながりを大切に 高齢者の自転車競技大会

10月25日、みどり野区民会館で、恒例の「みどり野区文化祭」が開催されました。主催者の小野寺治子区長は「みどり野区では、地域での触れ合い・助け合いが大事と考え、コミュニケーションを大切にしてきました。今後はより高齢者対策に力を入れていきたい」とあいさつしました。

特別企画「津軽三味線 井坂斗 絲幸社中〜日本の響き〜」では、津軽三味線や和太鼓などを用いて唄と踊りが披露されると、会場からはたくさんの拍手が起り、区民は芸術の秋を楽しみました。



祝 みどり野区文化祭

→大勢の区民で盛り上がった文化祭



県内第5位入賞の「つつじ会」の皆さん

10月22日、那珂総合公園アリーナで「第7回交通安全高齢者自転車競技茨城大会」が開催され、牛久地区代表として、つつじが丘シニアクラブ「つつじ会」の皆さんが出場し、見事団体の部で県内第5位入賞を果たしました。

この大会は、高齢者の交通事故防止のために(財)茨城県交通安全協会と茨城県警察本部が年に1回行っていて、70歳以上の高齢者が5人1チームとなつて自転車の安全運転技能を競います。本大会には県内の各警察署内から27チーム、135人の高齢者が出場しました。

つつじが丘行政区で市政懇談会を開催

10月18日、つつじが丘行政区で市政懇談会が開催されました。市からは池辺勝幸市長をはじめ、副市長、教育長ほか各部長が出席し、市民の皆さんと現在の市政の課題や地域の身近な問題などについて、熱心な話し合いが行われました。

当日、市政懇談会で交わされた市民の皆さんからの意見や提言の一部をご紹介します。

参加人数 30人



熱心な話し合いが行われた市政懇談会

主な意見や提言(抜粋)

- ・ 城中・田宮線の進捗よく状況と交通安全対策について
- ・ 北大通りの交通安全対策について
- ・ 南大通りの歩道の拡充、バリアフリーについて
- ・ 市から借りているグラウンドゴルフ場の使用期限と道路工事が着工した場合の代替地について
- ・ 公園内への高齢者用健康器具、ベンチの設置について
- ・ コミュニティバスかつば号など、公共交通機関の運行について
- ・ 新型インフルエンザに対する市の対策について
- ・ つつじが丘保育園の園児募集について

※市政懇談会とは、市長が地域住民団体と懇談し、市民の率直な意見を市政運営に反映させることを目的として、行政区や自治会単位で実施しているものです。

ホームページ http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/hisyo/kondankai/kondankai_index.htm
お問い合わせ 市政策秘書課 内線 3201

今年も大にぎわい！牛久市民秋まつり

(としよかんまつり・うしくWa iワイまつり同時開催)

11月3日、恒例の「牛久市民秋まつり」が開催されました。

市中央生涯学習センターロータリーや駐車場では、うしくWa iワイまつり(「大抽選会」や「いい友市」、茨城県のご当地ヒーロー時空戦士イバライガーRショーなど)、市中央図書館では、としよかんまつり(雑誌のリサイクル市など)が同時に行われました。

会場では「文化の日」にちなみ多くの団体の発表もあり、友達同士や家族連れなど大勢の人でにぎわいました。



「雑誌のリサイクル市」は今年も大盛況



各種団体の展示の数々



「大抽選会」で当選者は喜びの笑顔

昭和の空間へ飛び込もう！

うしく子育てフェスタ

11月15日、「2009うしく子育てフェスタ」昭和だヨ！全員集合(牛久市、牛久子育てネットワーク紡ぎの輪共催)が、市総合福祉センターで開催されました。会場内には懐かしい路地や茶の間が出現！子どもが店主の「こども縁日」や、落書き、昔話し、ベীগマ、紙芝居、竹ポックリ作りなど、懐かしい風景が広がりました。

メインイベントでは、大きな鬼にボールをぶつけてやつつけ、子どもたちは大喜び。最後は鬼も一緒に「ジャンカ」を踊って、懐かしくて楽しい「昭和」の一日が幕を閉じました。



鬼に向かってボールを投げる子どもたち

大きくてビックリ！

リンゴ狩り体験



もぎたてのリンゴを味見する園児たち

中央保育園では毎年恒例で「祖父母の集い」としてリンゴ狩りを行っています。

10月15日は天気にも恵まれ、足取りも軽く、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんと一緒に近隣の長沼りんご園まで歩いて行き、リンゴ狩りを楽しみました。

真っ赤なリンゴを見つけると「おいしそう！」と大喜び。子どもたちは、大きなリンゴを思わず丸かじり。とってもおいしかったようです。この日参加した約100人の参加者たちにとって忘れられない1日となりました。

うしくゴールデンボーイズが文部科学大臣表彰

還暦野球チーム「うしくゴールデンボーイズ」(左写真が、野球大会での成績に加え、日ごろの活動に対して文部科学大臣より表彰されました。これは「生涯スポーツ優良団体」としての表彰で、「地域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ団体」として表彰されたものです。

また、9月28日から大分県別府市で、第25回全日本還暦軟式野球大会に出場してベスト16という成績を残しました。これからも活躍が期待されます。



第4回日本スポーツ吹矢協会茨城県大会で優勝

10月11日、「第4回スポーツ吹矢茨城県大会」が、つくば市のつくばカピオで開催されました。

小学生から80歳までの男女600人が初級・中級・上級の各クラスに分かれ熱戦を繰り広げ、見事上級クラスで牛久スポーツ吹矢協会の児玉昌江さんが優勝の栄光を獲得しました。

児玉さんは「今までは後半に崩れることが多かったのですが、無欲が安定につながったのか思い掛け

ない優勝にうれしいの一言です」と喜びを語りました。



上級クラスで優勝した児玉さん

第22回全国グラウンドゴルフ交歓埼玉県大会

9月4日から6日の3日間、熊谷スポーツ文化公園で開催された全国大会に県代表選手として「牛久市グラウンド・ゴルフ協会」が「クラブ」から5人の選手が出場しました。5人の選手は4月に水戸市で行われた大会で上位になり、この全国大会に出場しました。出場者 中島博、宮本登志男、江沢孝太郎、小宮正久、柳井秀之 (敬称略)

第38回市内秋季親善野球大会

<9月6日～27日の毎週日曜・祝日>

【Aブロック】

優勝：Forever (下写真)

準優勝：刈谷野球部

第3位：牛久愛和総合病院、ビッグエイト



【Bブロック】

優勝：ニコウズ(下写真)

準優勝：牛久ゴールデンぽんぽこず

第3位：緑ヶ丘野球部、Pleasure



第33回牛久市民文化祭

将棋大会(11月3日開催)

	優勝	準優勝	第3位
Aクラス	横瀬國生	吉田脩三	岡谷恒男
Bクラス	後藤一好	高木順一	高橋善重
小中学生	野口紘太郎	八重樫俊介	山内航輝

(敬称略)

オペラ「小町百年の恋」



絶賛の拍手に包まれたオペラ鑑賞会

11月10日、昨年11月に国民文化祭の参加作品として上演された、今年度の茨城県芸術祭参加作品とのオペラ「小町百年の恋」のハイライト公演が、市中央生涯学習センター文化ホールで行われました。

このオペラは、新鋭指揮者の平井秀明氏が作曲・台本を手掛け、市内の中学2年生を対象とした鑑賞教室の一環として制作されたグラントオペラで、今回の公演には、市内の中学生36人が厳しい練習を重ね、地元出演者として、オペラに参加しました。公演終了時には、絶賛の拍手の中、大きな感動に包まれ幕を閉じることができました。

仲間と一緒に「歩く会」

10月24日、牛久第二中学校で全行程13kmを徒歩で行く「歩く会」が実施されました。

この試みは、「生徒たちの心の強さが足りないのではないか」という学校評価の反省を元に、歩くことで最後に貢献している自覚を持たせたいという思いから、PTAの方々もボランティアで参加して行われました。

はじめに、地元の唯根徹さんから地域の歴史についての話を聞きました。その後、学校を出発し、桂町にある金剛院の住職からお話を聞き、昼には学校へ到着。生徒たちはPTAの方々にも作ってもらったとん汁をおいしくいただきました。



地域の歴史を語る唯根徹さん



元気に歩く参加者たち



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp



皆さんのお便りから

短歌・俳句・川柳コーナー



南・犬塚さん

- 初氷笑顔はじける通学路 栄町 藤田さん
- 高速の安値につられ墓参り 刈谷町 小山さん
- 朝露にぬれたどんぐり秋深し 南 村山さん
- 黙黙と会釈を交わし散歩かな 小坂町 飯塚さん
- 行く雲に磨かれてゆく今日の月 神谷 井上さん
- 旅に出て息子に感謝する私 さくら台 二国さん
- 歳月は如何に追ひども追え越せず 下根町 藤田さん
- 幾錠も飲みほす薬に足されたし 小坂町 宍戸さん
- 思いをはせる我が心粒 田宮町 田中さん
- 紅葉が秋一番の冷え込みに 雪をかぶりて見事に映える

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。